

【 第75回 市町村職員を対象とするセミナー 】

志摩市における発達障がい者支援

～発達障がい者支援機能の取り組み～

H20.9.19

志摩市 澤田 真仁

1

序. 志摩市のプロフィール -1

(1) 人口・沿革；

○人口 59,367人(うち 子ども 8,904人) ※H20.4.1

○平成16年10月；

旧志摩郡5町(浜島町・大王町・志摩町・阿児町・磯部町)が
合併し、志摩市誕生。

(2) 関係施設；

○保育所 19 ○幼稚園 11 ○学童保育 5

○小学校 21 ○中学校 11 ○高等学校 2

2

序. 志摩市のプロフィール -2

(3) 機構;

- 志摩市健康福祉部
 - ・子育て支援課
 - 【家庭児童相談室】
 - 【要保護児童対策調整機関】
 - 【発達障がい者支援機能】など
 - ・ふくし総合支援室
 - ・地域福祉課
 - ・健康推進課
 - 志摩市教育委員会事務局
 - ・学校教育指導課
- 【福祉事務所】
- 【保健センター】
- 【教育委員会】

3

1. 設立に向けて

(1) ワーキングチームによる協議;

- ①関係部署の実務者による協議
- ②所属部署の意見を集約
- ③所属部署へ協議内容を周知

(2) 現場の課題・要望を調査;

- ①現場の思いを集約

(3) 保育現場の重要性;

- ①早期気づきの場
- ②早期支援の場

4

【資料：保育現場が求めるもの】

- ①個々の子どもに合った保育計画を作成・実行する力をつけるか、助言を得られる仕組み
- ②子どもが関係しているすべての機関の連携
- ③支援の統一化・役割分担
- ④連携の中心になって調整する人
- ⑤初期の段階から相談できる人
- ⑥相談できるだけでなく、それが支援につながる仕組み
- ⑦相談から支援の流れを明確化し、まずどこに相談すればいいかを定めること
- ⑧どこかにつなげたら必要な支援につながっていく仕組み

5

2. 支援体制の構築 -1

(1) 連携の確保

- ①関係分野をつないだ総合的な支援…【横の連携】
 - ケース検討会
 - 日常的な連絡調整
 - 専門機関やサービス(療育・手当等)へのつなぎ など
- ②途切れのない一貫した支援……………【縦の連携】
 - 早期気づきの支援
 - 支援計画作成の支援
 - 引継の支援 など

6

2. 支援体制の構築 -2

(2) ネットワークによる機能確保;

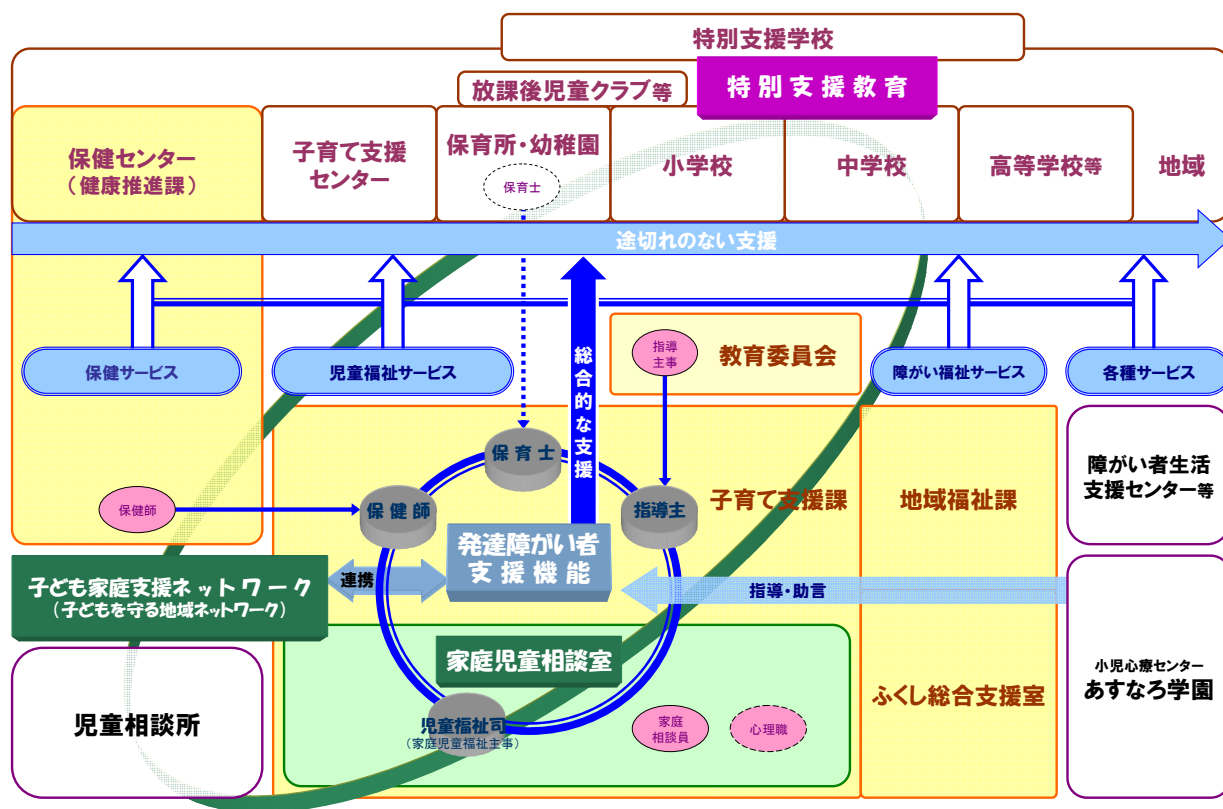
① 協働するスタッフを位置づけ

- 保健師……………保健センター等への支援
- 保育士……………保育所・幼稚園等への支援
- 指導主事……………学校等への支援
- 児童福祉司資格者…家庭等への支援・コーディネート

② 各部署の関係職種をネットワーク化

7

【資料：体制図】



8

3. 人材(スキル)確保の取り組み -1

(1) 専門機関(県)での研修(人材育成);

- ①保育士を派遣
- ②週3日・専門機関研修＋週2日・支援業務
- ③専門的スキルを習得
- ④研修と業務の相乗効果
 - 現場の課題を持参して研修
 - 研修内容(具体策)を現場へ

9

3. 人材(スキル)確保の取り組み -2

(2) 専門機関のスーパーバイズ;

- ①局面に即して
 - 体制づくり
 - スキルアップ など
- ②個別ケース対応
 - ケース検討会
 - 日常的なケース対応 など

10

3. 人材(スキル)確保の取り組み -3

(3) 家庭児童相談室との連携;

- ①相互に補完
 - 家庭児童相談室で心理診断・助言等を得る
 - 心理診断・助言等を具体的な手立てにつなげる
- ②相談支援のスキルを活用
- ③関連分野も含め幅広く支援
- ④在籍機関と家庭との連携を強化

11

3. 人材(スキル)確保の取り組み -4

(4) 子どもを守る地域ネットワークを活用

- ①円滑な連携の基盤
- ②子ども虐待予防の観点での取り組み
- ③ケース管理のスキルを応用

12

4. 効果の兆し・・・ -1

(1) 子どもに即した保育・教育の展開;

- ①どの子にも分かりやすい保育
- ②“後追い保育”でなく“先取り保育”を
- ③的確な加配

4. 効果の兆し・・・ -2

(2) 支援の充実;

- ①相談先の明確化
- ②引継の充実
 - 就学指導等への寄与
 - 将来を見据えた支援
- ③保護者と共同歩調

5. 今後の展開(課題) -1

(1) スキルの蓄積と浸透;

- ① 専門的スキルの蓄積
- ② 意識差・スキル差の解消

(2) 療育の充実;

① 重層的な療育の展開

- 専門的な療育……専門機関での療育
- 身近な療育………在住地域での療育
- 日常的な療育………在籍機関での療育
- 家庭でのかかわり

相互に連携

15

4. 効果の兆し…… -3

(3) 意識の変化;

- ① 大人が変われば、子どもも変わる
- ② 地域全体の枠組みの中で自機関の役割を考える
- ③ しっかりと子どもに向き合う
- ④ “お墨付き”があると心強い

16

5. 今後の展開(課題) -2

- (3) 大人への支援の充実;
 - ①生活支援・就労支援の充実